

平成29年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	大村城南高等学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0957) 54 — 3121			氏名	久保 憲司
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	服務規律意識の高揚			
<p>○校長講話（服務規律全般）</p> <p>○各学年・分掌等での職務の確認と年間目標を策定することにより教職員の意識の向上を図る</p> <p>○「私の不祥事根絶宣言」を職員がそれぞれ作成し、目につくとところに貼付することによって常に服務規律を意識する</p> <p>○事務長による、公金処理と私費会計（部活動費を含む）の適正な事務処理について説明</p> <p>○安全衛生委員会との連携</p>					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<p>○校長講話や年間計画策定により、職員の法令遵守・教師の使命感の意識の高揚につながった。働きやすい職場環境づくりに関しては、昨年度の反省に立ち年度当初の慌ただししい時期を避け、4月末に安全衛生委員会を行い5月より働きやすい環境づくりに取り組んだ。内容は職員の福利厚生に関するルール作りで、おおむね年間を通して守られた。</p>					
8月	実施テーマ	講話・伝達講習、体罰・行き過ぎた指導の防止 ハラスメント行為の防止			
<p>○校長講話（体罰防止・ハラスメント行為等の防止）</p> <p>○服務規律委員会担当者の研修会伝達講習</p> <p>○ガイドライン「体罰の根絶にむけて」の再確認</p> <p>○職員が職場で孤立しない環境づくりに努め、互いの変化の早期察知を促す</p> <p>○LINE、フェイスブック等のSNSを用いて生徒と私的な連絡を取らないことの徹底</p> <p>○「城南コンプライアンス通信」の発行</p>					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					
取組の評価・改善点					
<p>○県の研修会の「ハラスメント防止」に関する伝達講習は対生徒・保護者・同僚との関係性を考えさせられる内容となった。また昨年と同じ反省になるが強調月間のテーマが多岐にわたり、焦点が絞れなかった。また県の研修会では職員向けのSNSの危険性の研修会があれば助かると感じた。</p>					
12月	実施テーマ	講話、交通安全、情報セキュリティ対策の徹底、会計の適正処理			
<p>○校長講話（飲酒運転根絶）</p> <p>○職員の運転中のヒヤリハット事例集 ○「城南コンプライアンス通信」の発行</p> <p>○情報セキュリティ対策管理要綱の再確認 ○無許可での業務データ持ち帰り禁止の徹底</p> <p>○金銭の保管・払い込みの等のすみやかな会計処理と監査の準備（3月に監査実施）</p> <p>○安全衛生委員会と連携した体験活動による職員の連帯感の育成</p>					
取組状況チェックリスト					
<input checked="" type="checkbox"/> 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。					

取組の評価・改善点

- 5月の本校生徒の自転車事故を受け、年度当初計画していた交通安全標語コンテストを取りやめ運転中のヒヤリハット経験を全職員1つずつ提出し、それを事例集として配布した。
- 安全衛生委員会との連携で職員の体験活動（門松づくり）をおこなった。職場の連携意識が多いに強まった。

2 服務規律委員会

委員会名

構成員

所属内委員（6名 構成員：教頭 事務長 カウンセラー
ハラスメント相談員 職場代表2名）
外部委員（2名 役職等：PTA評議員）

**活動内容
（主なもの）**

強化月間（4月、7月、12月）を設けて適時的に重点取り組み事項を掲げることで、職員一人ひとりの心の中に継続的に服務規律遵守の意識を醸成させ、年間を通じて綱紀粛正に努める職場の雰囲気づくりを図る。
安全衛生委員会と連携して全職員で働きやすい職場環境作りを推進し、風通しのよい人間関係づくりに努める。

活動内容の評価・改善点

服務規律委員会は2度開催。外部委員とは日程等の都合で事後報告となることもあった。委員会のとりまとめ役がなかなか決まらず、安全衛生委員会との連携が管理職主導となってしまった。

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
- 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

年間を通しての取組の評価・改善点

【評価】

- 今年度は生徒の事故を受け、交通安全に関する取り組みは緊張感の伴ったものとなった。
- 安全衛生委員会との連携で健康増進研修や健康増進体験活動などを実施することによって、働きやすい職場環境となった。
- 他の項目は網羅的になってしまったので、今後はテーマをもっと絞って呼びかけていきたい。

【改善点】

- 情報セキュリティ対策管理要綱の情報量が多く職員には周知しづらい。特にSNSの利用上の注意点など端的にまとめた「注意事項」等のプリントが必要に感じる。
- 県の研修会の内容がかなり絞られた内容であった。年度当初にテーマが分かれば強調月間のテーマとしたい。

■ 管理職員による職員に対する指導状況

（不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合に全所属が記入します。）

- ①指導年月日：平成29年 4月26日（通知日：平成29年 4月21日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達の内容を全職員に紹介
- ・ 校長より綱紀の保持と働きやすい職場環境づくりの講話

- ②指導年月日：平成29年 7月 5日（通知日：平成29年 7月10日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達を全職員に配付
- ・ 交通関係に関する校長講話
- ・ 城南コンプライアンス通信の配付

③指導年月日：平成29年 8月 9日（通知日：平成29年 7月28日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達を全職員に配付
- ・ 校長不在につき、教頭より教師の使命感に関する講話

④指導年月日：平成29年 8月 9日（通知日：平成29年 8月 3日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達を全職員に配付
- ・ 校長不在につき、教頭より教師の使命感に関する講話
- ・ SNS等の利用上の諸注意

⑤指導年月日：平成29年10月11日（通知日：平成29年10月 6日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達を全職員に配付
- ・ 法令順守に関する校長訓話

⑥指導年月日：平成30年 1月 9日（通知日：平成29年12月22日）

指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）

- ・ 通達の内容を全職員に紹介
- ・ 校長より教師の使命感に関する講話

資料添付	有	・	無
------	---	---	---

※様式枠の大きさは適宜変更してください。

※各所属で作成された資料等があれば、今後の取組の参考とするため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。